

オンラインでしゃっこいテレビ

しゃっこいフェス2021

2月7日(日)、冬のイベント実行委員会主催(上出哲也実行委員長)の「しゃっこいフェス2021」が開催されました。

今年のしゃっこいフェスは新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、「新しゃっこいスタイル」として、YouTube(ユーチューブ)の「しゃっこいTV」からライブ配信。しゃっこいぬりえコンテストや地域の方たちが登場するコマシヤル、アイスキャンドル点灯では実行委員と邪魔をする鬼との三本勝負など視聴者を飽かさせない工夫がされていました。

上出実行委員長は「例年のように開催することはできませんでしたが、アイスキャンドルに火を灯すことで、みんなの心が会場に一つになることを願って」と視聴する方達へメッセージを送りました。



新入学児童に手作りマスク寄贈

キノシタリビングバスケット

2月12日(金)、キノシタリビングバスケットの木下幹子代表が教育委員会を訪問し、新入学児童にと手作りマスクを寄贈しました。

寄贈されたマスクには「ご入学おめでとうございます」とメッセージも添えられ、木下さんは「入学する子どもたちに活用してもらえれば」と語られ、水野教育長からは「大変ありがたい。大切に使用させていただきます」と感謝の言葉が述べられました。



コロナ禍での取組発表に90人が視聴

うらほろフォーラム2021

2月20日(土)、うらほろフォーラム2021(うらほろフォーラム2021実行委員会)がYouTube(ユーチューブ)のライブ配信で開催されました。

フォーラムでは、コロナ禍での民泊体験についての座談会やオンラインを活用した取組、中高生の挑戦、うらスタ卒業生の今とこれからなどコロナ禍の中でも取り組むことができた活動について発表が行われた。

ライブ配信は事前に収録された映像を交えるなど、オンラインならではの工夫を凝らし、ピーク時には約90人の視聴があり、数日後には再生回数が500を超えました。



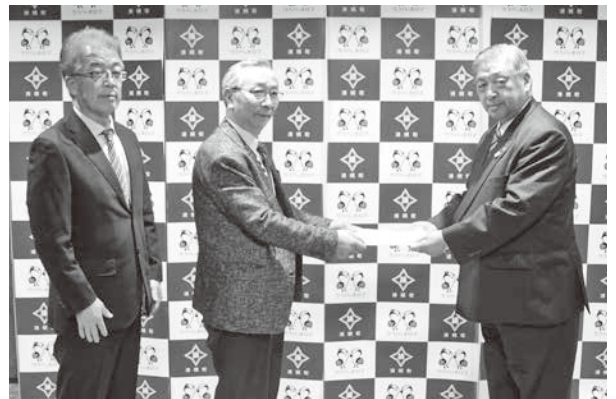
介護保険料基準額据え置きで答申

浦幌町老人福祉計画・第8期介護保険事業計画

2月22日(月)に浦幌町老人福祉計画・介護保険事業計画策定審議会の上村健二会長より水澤町長へ浦幌町老人福祉計画・第8期介護保険事業計画の答申書が渡されました。

本計画は、「ともに支え みんなで創る いつまでも暮らせるまちづくり」を基本理念に4つの基本目標と20の施策を掲げ、介護保険料基準月額額は第7期と同額の5,400円に据え置くこととしました。

答申では、成年後見制度の積極的な周知啓発や市民後見人の養成、権利擁護の推進などが付帯意見として提出されました。



浦幌町建設業協会
新 小学1年生に文具など寄贈

3月1日(月)、浦幌町建設業協会の大浦也須史会長が教育委員会を訪問し、4月から小学校に入学する児童31人のために縄跳び、紅白帽子、油粘土、クレヨン、フェルトペンのセットを寄贈しました。

子どもたちの健全育成のためにと毎年行われており、今年で13回目となりました。

大浦会長は「勉強や運動をするには体力が必要。体を動かして、いっぱい食べて、成長して欲しい」と語り、水野教育長は「毎年大変ありがたい。子どもたちも喜んで使っています」と感謝の言葉を述べられました。



大昭電気工業株式会社
企 業版ふるさと納税で寄附

3月3日(水)、大昭電気工業株式会社(帯広市)の出村行敬代表取締役が役場を訪問し、企業版ふるさと納税として100万円を寄附しました。

出村代表取締役が浦幌町出身という縁で、同社からの寄附は7年連続となります。

出村代表取締役は「故郷の役に立てればという想いで寄附を続けさせてもらっている。今後も協力していきたい」と語り、水澤町長からは「毎年多額の寄附をいただき、感謝している。大切に活用させていただきます」と感謝の言葉が述べられました。



浦幌町厚内寿大学
健 やかな羽ばたき願い千羽鶴

3月3日(水)、浦幌町厚内寿大学の小山孝行学長(厚内公民館長)と野々村寿学級長、大学生4名が役場を訪問し、4月から開園する浦幌町認定こども園に千羽鶴2組とタオル126枚を寄贈しました。

この千羽鶴は、厚内寿大学生の佐藤成子さんが「認定こども園の開園と子ども達の健やかな成長を願い贈りたい」と提案されたのが始まり。数か月かけて厚内寿大学生一同が心を込めて織り上げたものです。

野々村学級長は「子ども達は地域の宝、社会の宝であります。子ども達がすくすくと健やかに育ち、ふるさとを愛し羽ばたくことを願って織りました」と語り、水澤町長からは「心のこもった折り鶴をいただき大変ありがたい。子ども達も喜んでくれる」と感謝の言葉が述べられました。



浦幌中学校アイスホッケー部
中 学校選抜に選出された3名

3月5日(金)、浦幌中学校アイスホッケー部の生徒3名が、3月25日(木)から27日(日)に帯広市で開催される全道選抜中学生アイスホッケー大会の帯広選抜に選出されたことを水野教育長に報告しました。

3名は今シーズン全十勝Cの一員として出場し活躍。その功績が認められ今回の選抜選出となりました。

杉江真宙さん(3年)は「早い判断で相手の動きを抑えたい」、関椋太さん(2年)は「最年少なので遠慮しないで攻めたい」、木村柚稀さん(2年)は「3年生のキーパーに負けずにプレーしたい」と意気込みを語りました。

水野教育長は「けがをしないように1点でも多くとって結果を残すように頑張ってきてください」と激励の言葉を述べられました。

